

令和7年度 焼津内港地区社会実験 結果報告

内港に”えんがわ“をつくろう！
まちでやりたいことをカタチにする実験イベント

焼津市 都市整備課

■目次構成

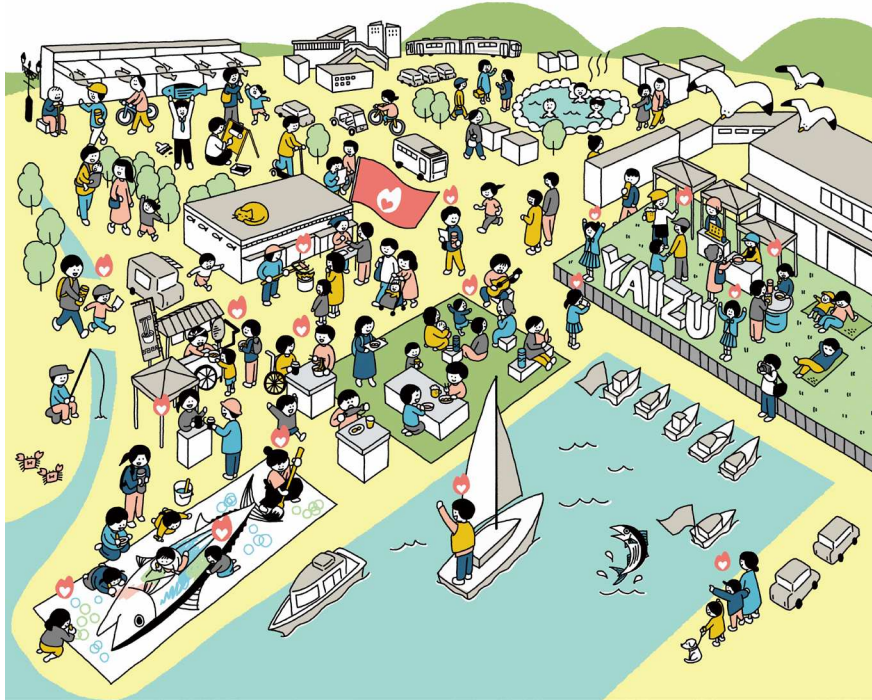
1. 社会実験の実施概要	2
2. 実施企画の概要	6
3. 検証結果	
・来場者アンケート	12
・パネルアンケート	21
・企画者アンケート	22
4. 結果まとめ	25

社会実験の実施概要

【実施内容】

内港に“えんがわ”をつくろう！ まちでやりたいことをカタチにする実験イベント

焼津内港において、海のそばならではの日常的なにぎわいづくりを実施しました。駅・商店街・内港をつなぐ「まち歩き」を楽しみながら、これから防潮堤整備が進む内港で、海をより身近に感じられる“えんがわ”のような空間づくりを実施しました。



① 日常的なにぎわい創出のための空間形成・活用

今後整備が予定されている防潮堤整備地において、日常的なにぎわいの場や滞留・活動の場を創出するための取組を試行し、活用方法やニーズを検証する。

② 駅-商店街-内港地区の周遊促進

居心地がよく歩きたくなるまちなか形成に向けた、歩行者ネットワークの可能性や、周遊性を高める取組の方向性について検証する。

【実施日時】 令和7年11月23日（日）10：00～15：30

【場所】 焼津市中港2丁目旧魚市場会館前特設会場 【共催】 焼津市都市整備課/焼津内港社会実験プロジェクトチーム

【協力】 焼津漁港管理事務所/焼津漁業協同組合/東洋水産(株)/ととや新兵衛/松薫学園焼津高等学校/焼津PORTERS

社会実験の実施概要

【実施場所】



社会実験の実施概要

内港地区の取組検討において検証が必要な事項を以下のとおり設定し、社会実験を通して、2つのテーマに関するデータを把握した。

テーマ① 日常的なにぎわい創出のための空間形成・活用

検証目的：内港地区の雰囲気を活かした日常的なにぎわい創出に向けて、今後整備が予定されている階段護岸式の防潮堤周辺を活用した地域活動の促進の可能性を探る

検証内容：内港地区における空間形成の可能性と、その空間に対する利用ニーズ、さらに関係人口の主体性や今後の関わり方を把握することを目的とする。

検証方法：実施内容の確認や写真撮影、カウント調査、目視によるアクティビティ調査、利用者アンケート、会議・イベント参加者数の記録、企画参加者アンケートを組み合わせ、定量・定性の両面から分析する。

テーマ② 駅-商店街-内港地区の周遊促進

検証目的：駅-商店街-内港の周遊促進に向けて

- ・強化すべき歩行者ネットワーク（魅力や利便性）と形成する上での課題
- ・地域主体による周遊促進策の可能性

を探る

検証内容：内港地区への来訪手段の傾向や、しおかぜ通り・小石川沿いなどの歩行者ネットワークの魅力や利便性、周遊時の課題を把握する。また、地域主体による周遊促進策の可能性も検討します。

検証方法：利用者アンケートや聞き取り調査、パネルアンケート、実施内容の確認を通じて、定良・定性の両面から分析する。

社会実験の実施概要

【社会実験までのスケジュール】

企画会議
9月28日（日）

企画の精査・準備期間

社会実験
11月23日（日）

●企画の立案・企画チームの組成

- ワークショップ形式により、「地域のやりたい！」をカタチにする企画会議を実施。
参加者20人で4つのチームを立ち上げ企画を組成した。

●社会実験に向けた準備期間

- プロジェクトチーム
チーム毎にオープンチャットを活用して企画調整を行い、週1回程度のオンラインミーティングを通じて、企画内容の整理・制作までを実施した。
- 事務局
全体企画の調整、発信及び諸機関への許可申請など、企画伴走を行った。

●社会実験当日

- 企画毎に設営から運営を実施。当日は約200名が来場し、防潮堤整備予定地でにぎわいを創出することができた。

実施企画の概要

【企画会議主旨】

地域に関わる人々が「まちでやりたいこと」を実現するため、内港地区で試行したいアイデアを検討し、企画会議で出た内容を基に企画を実施しました。

**思いを持ちより、
内港に“火”を灯そう！**

まちの未来を描く“企画会議”



まちの未来に対する思いの火を
地盤に灯し、広げるため、
まちを活用した社会実験を
企画・実施していきましょう！

**9/28日 内港周辺一帯における
13:00-16:30 まちの社会実験を企画する**

内港地区でやってみたい、どんな地域にならうかという希望
を形にするため、具体的な社会実験を企画しよう！

こんな人におすすめ！

- ・内港に関する思いやアイデア、具体的に
まちづくり活動に関心がある人！
- ・内港の歴史や文化について、自分事感に
つながりたい、学びたいことがある人！
- ・内港・まちに関するアイデアを共有して、
まちを盛り上げたい人！

当日のタイムスケジュール

13:00 開始	13:45 グループワーク	16:30 終了予定
--------------------	-------------------------	----------------------

会場 焼津PORTERS コワーキングスペース2F

主催：焼津市まちづくり推進課

企画会議の目的

社会実験の実施に向けて

9/28日 企画会議では

1 内港地区のまちの未来を描く
2 内港地区のまちの未来を描く

本企画会議から社会実験までの流れ

9/28日 企画会議
10月上旬・11月上旬 企画準備・計画
11/9日 社会実験

アドバイザー
國田 智秀
日本大学理工学研究所 教授・博士(工学)
主な専門分野
・都市計画・まちづくり
・都市設計・まちづくり
・都市計画・まちづくり

本企画会議での検討対象範囲

申込期限 9/21日 定員 20名

問い合わせ先：日本工業大学 社会連携部
〒416-8501 静岡県焼津市中央3丁目1-16
TEL 054-850-1111 FAX 054-850-1112
E-MAIL: shien@nitech.ac.jp



▲企画会議フライヤー

▲当日写真

企画概要

地域の名産である「カツオ」を発信することを目的として、
25×12mのキャンパスに世界一のカツオを描き、誰でも参
加可能で、地域の魅力を発信するための企画を実施した。

風景・滞留の様子

●誰でも参加可能な体験型企画

- 防潮堤整備予定地を身近な場所として感じてもらえるよう、焼津らしいカツオをモチーフにしたアートイベントにより、子どもを中心とした新たな層が内港に訪れ、楽しむ風景が生まれた。

コアメンバー

杉山 博紀
増田 義就
久保山 恵里

協力団体

焼津高等学校 書道部



企画概要

廃材を活用して作成した「自家製屋台」を用い、地元企業と連携してカップラーメンを提供。かつて焼津港で見られたラーメン屋台を再現し、港を眺めながらラーメンを楽しむ風景が見られた。

生み出せた風景

●地域住民×地元企業の連携

- 地元企業を巻き込みながら、焼津らしさを内港で創出することができた。

●内港におけるラーメンのニュースタンドを検証

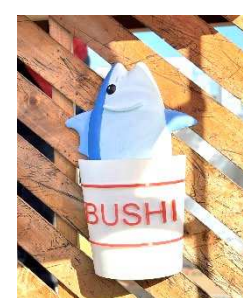
- 地元企業との連携による、カップラーメンにカツオ節を入れる焼津のニュースタンドを検証した。

コアメンバー

山口 佳織
杉山 雄風
上野 貴久
曾根 良佳
兼平 あゆみ
増井 拓良

協力団体

東洋水産（株）



企画概要

内港を背景に小さな音楽ステージを設置。
地元ゆかりのある出演者が海辺で演奏し、来場者がくつろぎながら楽しんだ。

生み出せた風景

- 来場者が海風を感じながら音楽を楽しむ
 - 内港ならではの解放的な空間の中で、くつろぎながら音楽に親しんだ。
- 地元ゆかりの出演者が演奏
 - 景観を活かした海辺のステージにおいて、来場者を魅了する素敵な音楽を披露した。

コアメンバー

水野 優子
前田 哲男
橋本 隆生

出演者

パンダーヤシンシン
すずらん
toru sato
PORTERS管弦楽団



企画概要

地域の飲食店が参加し、海辺の小さなマルシェを実施。また、焚火を囲ってマシュマロを焼き、海風を感じながら団欒した。

生み出した風景

●海を眺めながら焼津ならではの味を楽しむ

- 来場者は、鯉節珈琲や浜焼きなど焼津の特産品を味わった。

●港の空間が日常的な憩い・にぎわいの場となる。

- 海をより身近に感じられる“えんがわ”のような空間を創出した。

マルシェ出店者

めぐみ珈琲ラボ（久保山 恵里）

チェリービーンズ

焼きマシュマロ（木島 希望）

ととや新兵衛



企画概要

地域内を楽しく周遊することを目的とした「ぶらぶらマップ」の作成や、タンブラーを用いて地域の輪を広げる「焼津ぶらぶらタンブラー」を実施した。併せてまちなかに合言葉を散りばめることで周遊を促し、内港周辺を散策するための施策を実施した。

生み出せた風景

●ぶらぶらマップを手にまちを散策する姿

- 作成したマップを手に、まちの魅力を再発見する光景が見受けられた。

●ぶらぶらタンブラーを通じたコミュニティの形成

- 気軽にエコを体感しながら焼津地域のまち歩きを楽しみ、まちのどこでも返却できる仕組みを実証した。

コアメンバー

橋本 奈々実
水野 優子
高橋 節子
吉田 恵美子
鈴木 展明
角皆 みづほ

マップデザイン

杉山 雄風
兼平 あゆみ

協力団体

ぶらぶらタンブラー連携店舗10店舗
ととや新兵衛



来場者アンケート

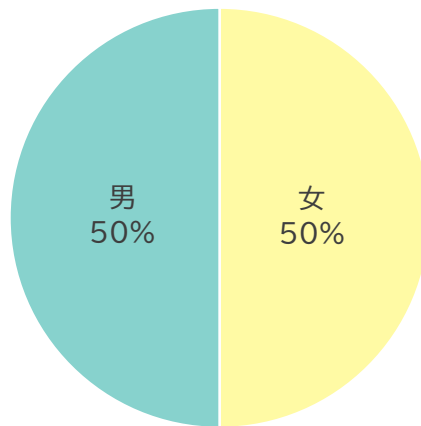
■参加人数：約250人(来訪者：約200人、関係人口※1：約50人)

■アンケート回答数：全74件（来場者アンケート：38件、パネルアンケート：36件）

※1：企画に関与した人数

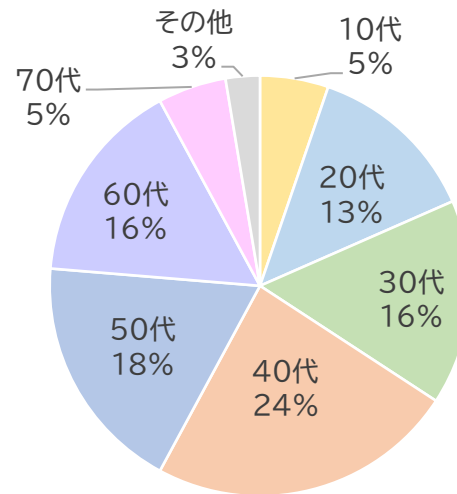
来場者属性

性別



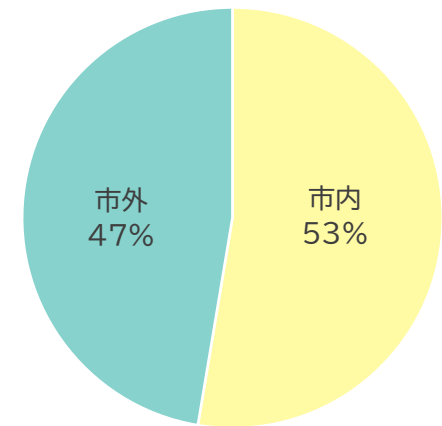
男女比は同じで、性別による偏りは見られなかった。

年齢



年齢層は幅広いものの、中高年層の来場が多く、若年層の来場は限定的だった。

お住まい



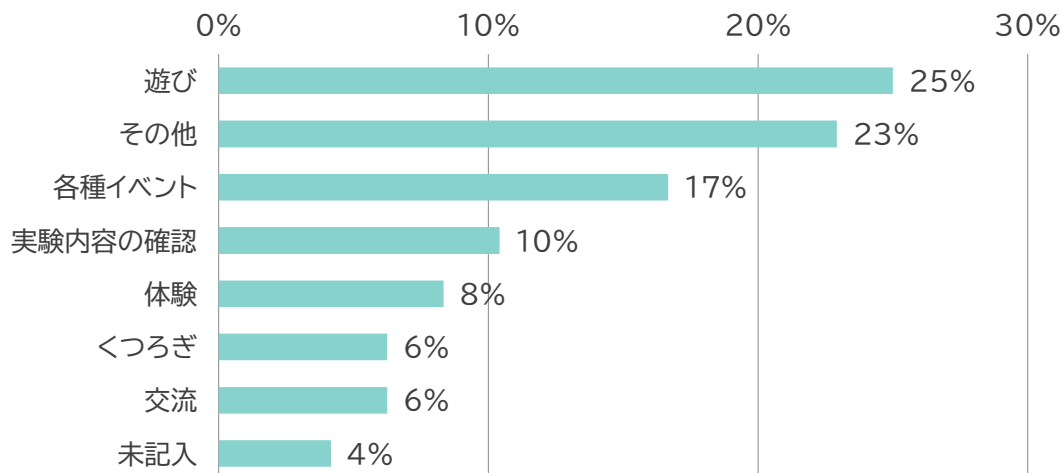
【市外】

静岡市(8)、藤枝市(2)、清水市(1)、島田市(1)、熊谷市(1)、千葉県船橋市(1)、京都(1)、神奈川県(1)、藤沢(1)、未記入(1)

市内外でほぼ同程度となり、特定の地域に偏ることなく幅広いエリアからの来場があった。

来場者アンケート

■どのような目的で来場されましたか？（複数選択可）

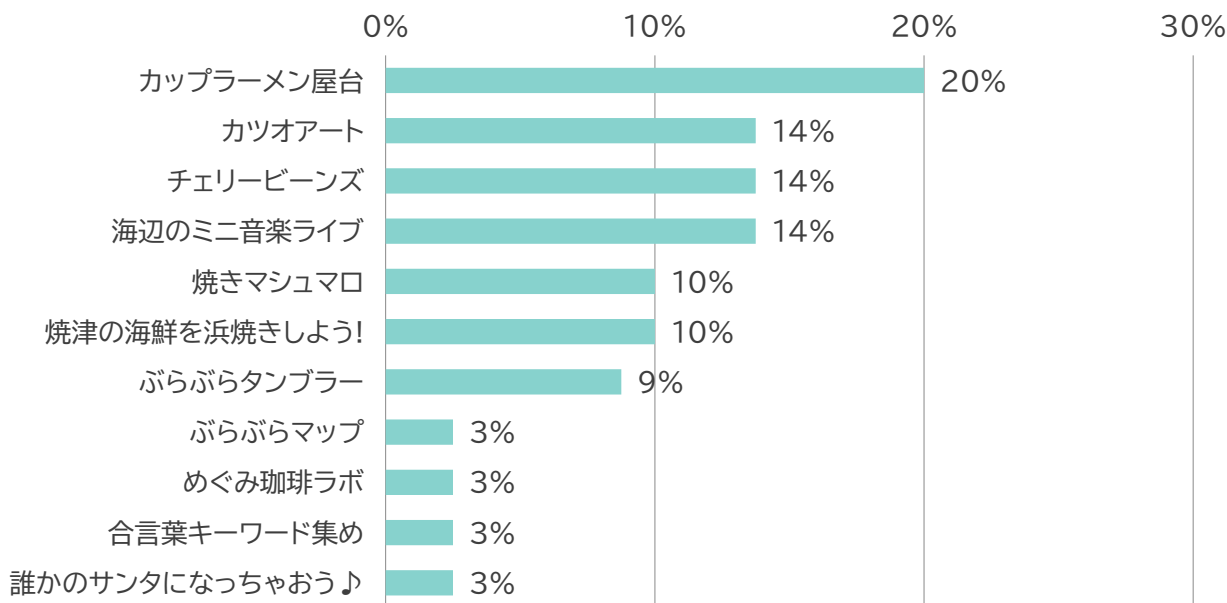


- 「遊び」が最多で、次いで「各種イベント」という結果となった。
- 「遊び」目的の方は家族連れが多く、「イベント」目的の方は地域活動に関心がある様子だった。

【その他】

出演(1)、出店者(1)、飲食(2)、バイト帰りに近くだった(1)、まちを知る・仕事との関係(2)、友だちが出演していた(1)、散歩がてら立ち寄った(1)、観光(1)、孫に会いに(1)

■「各種イベント」と回答された方にお聞きします。どの企画に参加しましたか？（複数選択可）



- 「カップラーメン屋台」が最多。飲食ブースが人気で、軽食を楽しむ方が多く見られた。
- 「カツオアート」や「ライブ」を観覧する方が多く、盛り上がっていた。

来場者アンケート

■参加されたコンテンツについて、感想をお聞かせください。（抜粋）

全 体	• 海辺でのイベントが気持ちよかった！
	• 海辺でこういうイベントをやると気持ちが良い。
	• みなと最高！
	• 誰でも楽しく参加できる(子供～大人まで)イベントになっていて、自分も参加したくなった！
	• 子供達を楽しめる企画でよかった。
	• 地域活性化について様々な方が集まる様は見えて感動を覚える。特に移住して来られた方々の立ち振舞が参考になると考える。
	• 海辺で飲食できればいいと思っていたので参加してよかった
	• 雰囲気がある。
	• 会場が広くて、開放的で良かった
	• 漁業と海を前に出してほしい。
	• 他のイベントとの連携。
	• 地域の特性上“知らないところ”に足が向かないと思うので、地元の人の“身近の知ってる”を増やしアピールできたらどうなのかなと思いました。
	• イベント会場がもう少しPORTERSに近い方が行き来がしやすくよかったのではないかと思います。
	• PRして出店数を増やす方がいい。
カツオアート	• コンテンツ自体はとても楽しかったが、参加人数が少なく勿体無く感じました。
	• カツオの色塗りとてもよかったです！
	• あの規模のカツオアートは見たことないので、とても良い体験でした。その後の活用方法なども検討できるといいですね！
	• カツオアートでこども達が絵の具まみれになって楽しそうでした。ドローンで上から見せてくれたのもこどもが驚いてて見れてよかったです。
	• 子どもは絵の具を好きなだけ使えて楽しかったそうです。大人はドローンを飛ばしているのがゆっくり見れてよかったです。
	• ここまで大きな塗り絵？を子供達が体験できる機会はないので、子供達も楽しかったようで、次はいつカツオやるの？と聞かれました。。。楽しんでくれて何よりです！
	• カツオアート、感動しました！
	• カツオの塗り絵は、たくさんの子供たちが楽しそうにやっていたのがよかったです。

来場者アンケート

■参加されたコンテンツについて、感想をお聞かせください。（抜粋）

カツオアート	• カツオのペイントを子どもたちが楽しんでいてこちらも笑顔になれてよかった。
	• スマホやPCが発展している中で、今回小さい子供が、身体を汚してまでカツオを描いてくれたことに対して、本来の子どものあるべき姿ではないかと感じました。（こういった考え方をすること自体歳をとったのかもしれませんが）
	• みんなで巨大カツオを描こう：子供たちが夢中で色塗りしていてとてもよかったと思う。25mは大迫力！準備してくれた方にほんと感謝です！
	• カツオアートにはもう少し子供たちが集まると思ってました。
海辺の ミニ音楽ライブ	• 音楽も心地よかったです！
	• コンサートも大人もこどもも触れる機会があまりないので聞けてよかったです。
	• お天気も良くて、青い空と海と船をバックに手回しオルガンの演奏を聞いてとても気持ち良かったです。時間があれば他の方の演奏も聞いてみたいと思いました
	• 茶箱にござはえんがわ感があってよかった。
ぶらぶらマップ＆ ぶらぶらタンブラー	• ミニライブ観客がポツポツで少し寂しかった
	• ぶらぶらタンブラーは、話をさせていただいて使用される方がいらっしゃった。
	• ブラブラタンブラーについて、初めての試みとのことでしたので、不測、不足の点があったかと思います。関係される方にお話しさせていただき、今後ますます活用される取り組みになるといいなあと思いました。
カップラーメン 屋台	• ブラブラマップ
	• カップラーメンがおいしかった(2名)
	• カップラーメン屋台。鰹節との相性は良くおいしかった。
	• 港でカップラーメンは、ロケーションも相まっていつもよりさらに美味しく感じました！
	• カップ麺。鰹節を入れたのが初めてで、美味しかったので自宅でもやってみようと思いました。
	• 海風が吹いて体が冷えたので、カップラーメンは助かりました。
	• カップラーメンもおいしかったです。
	• カップラーメンも鰹節を入れる事で味が変化してとても美味しかったです。寒い中のラーメン最高でした。
	• うま塩を食べたが追いかつお節が2個あってもよかった。本物の削り節を使えたら風味も出てなおgoodだったと思う。
	• カップラーメンも鰹節を掛けると味が変わり楽しかったです。

来場者アンケート

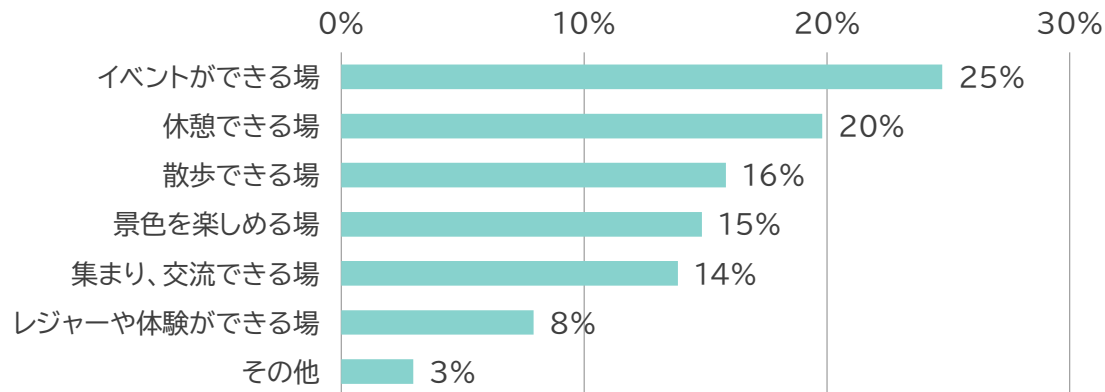
■参加されたコンテンツについて、感想をお聞かせください。（抜粋）

焼津の海鮮を 浜焼きしよう！	・ 晴れた日の港でビールと焼き魚、最高でした！
	・ メカジキの照り焼きも美味しかったです！
	・ 浜焼きはもっと海鮮(種類を増やす)を出せれば焼津らしくてよかったと思う。くろはん焼きがあってもよかった
チェリービーンズ	・ チェリビおいしかった
	・ チェリビ最高！
焼きマシュマロ	・ 焼きマシュマロは、子どもに人気でした！
	・ 焼きマシュマロが無料で楽しめてよかった
めぐみ珈琲ラボ	・ コーヒーが美味しかった。

- 海を身近に感じながら、イベントや飲食が楽しめるロケーションが高く評価された。
- 「カツオアート」に関しての感想が多く寄せられ、子どもから大人まで世代を超えて楽しめるコンテンツとして、興味深く観覧された様子がうかがえ、高い評価を得た。
- 雨天による順延により内容や開催時間に変更があったが、来場者からは貴重な意見や感想が多数寄せられ、今後の取組に活かせる有益なデータを収集できた。

来場者アンケート

■ 今回の特設会場では、今後、階段状の防潮堤が整備され、イベント会場や休憩・滞留スペースのにぎわいの場として、使えるようになります。今後、この場所でどのような過ごし方ができると良いと思いますか？（複数選択可）



➤ 「イベントができる場」が最多で、地域のにぎわいの場としての期待が高いことが分かった。

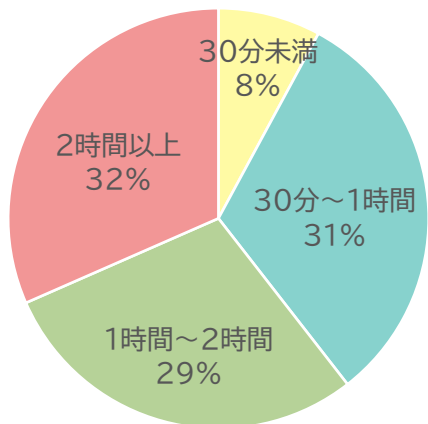
➤ 次いで「休憩できる場」「散歩できる場」「景色を楽しめる場」が多く、ゆっくり過ごせる空間へのニーズ、日常的に立ち寄れる憩いの場としての利用が望まれている。

【その他】

未記入(1)、休むところがない・ベンチがない(1)、焼津で水揚げされた魚を食べる所が欲しい(1)

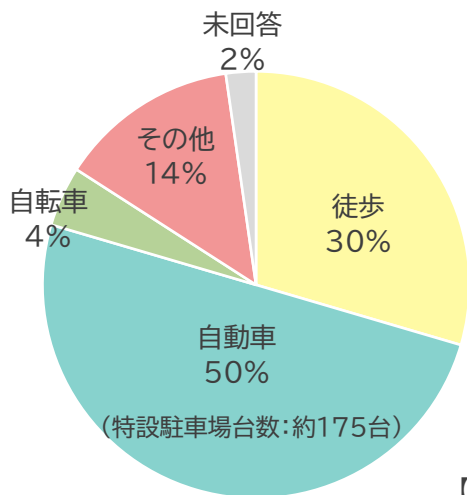
来場者アンケート

■ イベント滞在時間は、どのくらいでしたか？



半数以上が1時間以上滞在しており、滞在空間としてのポテンシャルは高いことが確認できた。

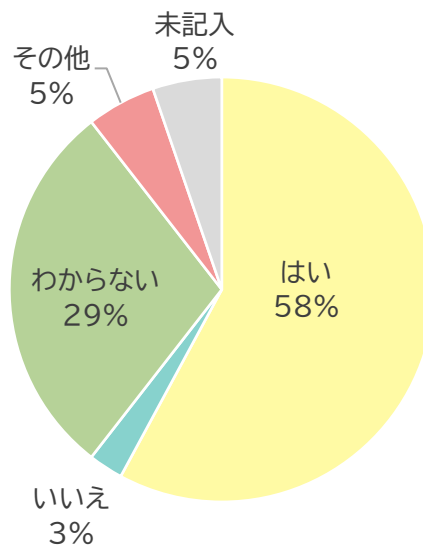
■ どのような交通手段で来られましたか？ (複数選択可)



全体の5割が「自動車」、次いで「徒歩」であった。

【その他】 電車(6)

■ 本イベントは、地元の皆様と市が連携し、将来の内港の日常的なにぎわいやまちなかの周遊につなげることを目的に企画しました。今後、このようなまちづくりの活動やイベント企画・運営に参加してみたいと思いますか？

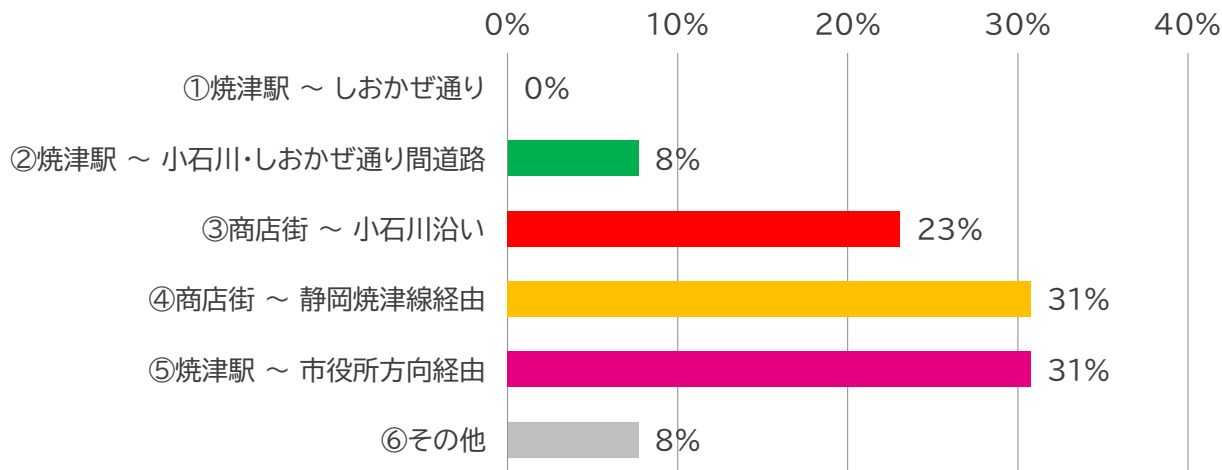
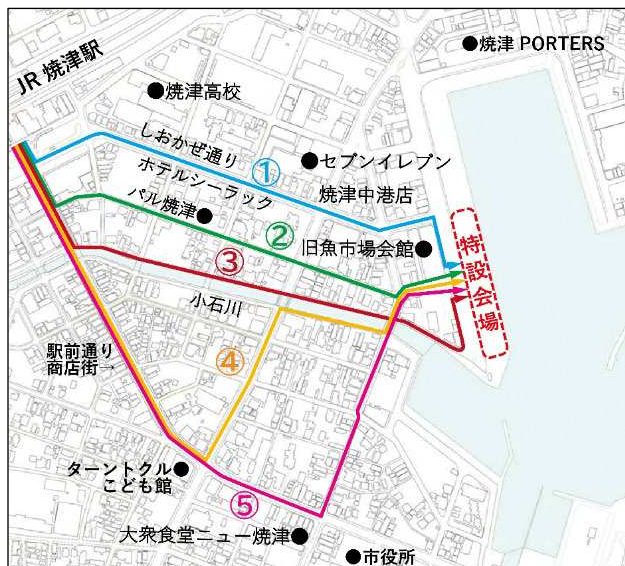


全体の約6割が「参加したい」で最多となった。

【その他】
お手伝いはできます(1)、
参加は難しいが活動内容は知りたい(1)

来場者アンケート

■ 駅または駅前通り商店街から「徒歩」で訪れた方にお聞きします。特設会場まで、どのようなルートで来られましたか？



■ ご回答いただいたルートを選択した理由をお聞かせください。

選択②④⑤:周遊していた。(2名)
選択③:今日は何となく選んだ。一番内港まで迷わなくていい。
選択③:小石川沿いが気持ちよさそうだったから。
選択③:なんとなく
選択④:なんとなく港に向かったら…。(3名)
選択④:商店街のイベントも見かけたから
選択⑤:駅前のイベント(あそびば、発酵マルシェ)も立ち寄ったため。
選択⑤:周辺のイベントをまわりながら散歩していた。
選択⑤:なんとなく

徒歩の場合、商店街周辺でイベントを実施していたことなどから「③商店街～小石川沿い」「④商店街から静岡焼津線」「⑤焼津駅～市役所方面経由」のルートで来場した人が多かった。

来場者アンケート

■今後、内港地区で期待することがあればご記入ください。

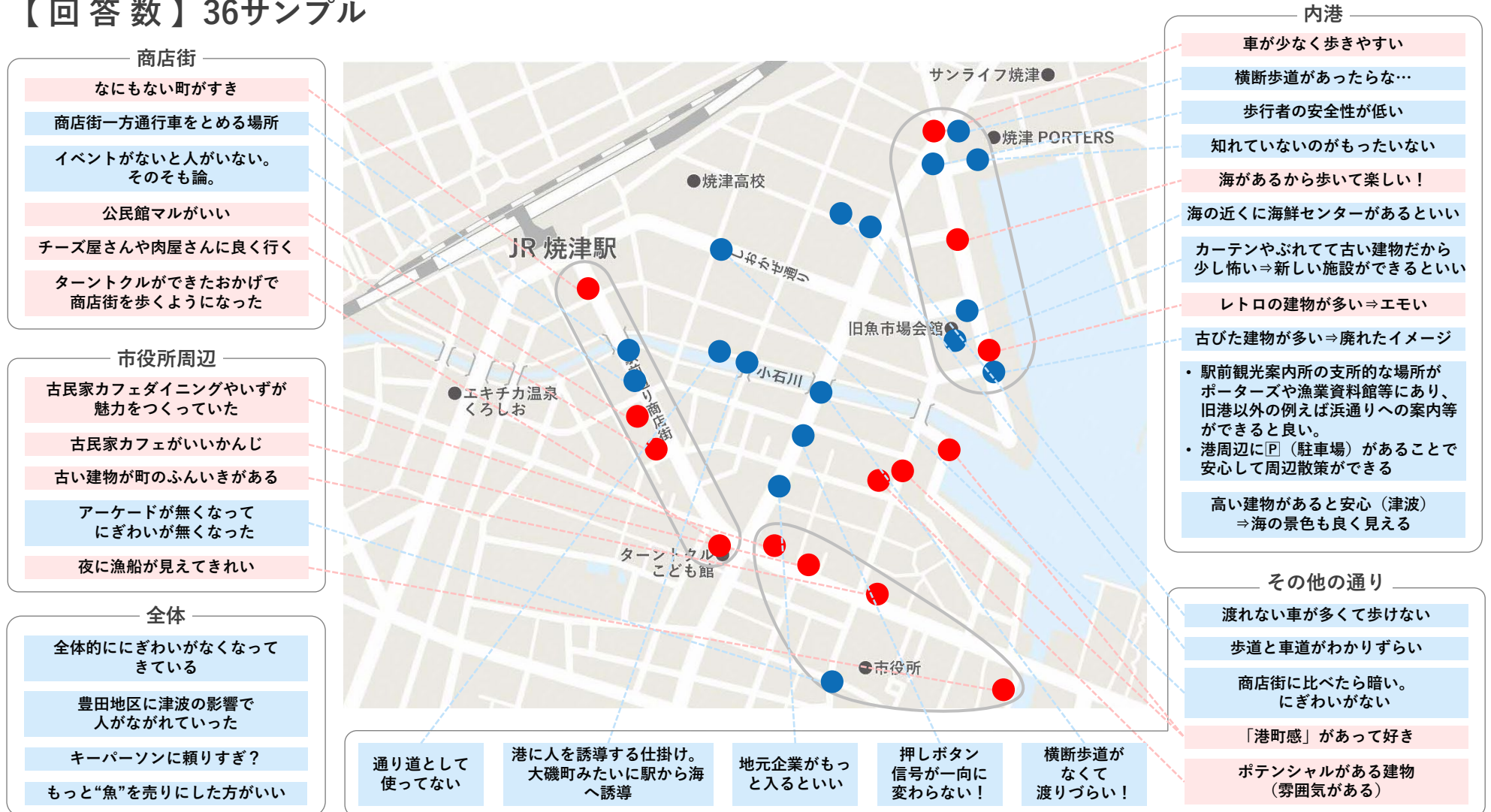
まちの将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 景観を大事にしてほしい。(海と船と山)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ますます焼津が活性化されて良い街になることを期待します。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ とにかく観光客、イベント頼りでは無く日常的に人が来なくなる場所になってほしいです。どこかで成功した事例をそのまま踏襲したりするよりは、本当に内港地区に近い人たちが何に困っていて何を求めているのか、何があれば足を運びたいのか、その方が何倍も大切だと思います。また、内港地区の街づくりに関わる人全体が共通の明確なビジョンをしっかり持った状態で施策を進めていくのが良いと思います。ビジョンが定まっていないと目的も目標もあやふやになってしまうと思うので。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 港が当たり前にある焼津だからこそ、この港のエモーショナルな雰囲気大切に、たまに足を運びたいような場になれば、人に使われる事で、新たな港の価値に繋がると思います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅から港まで近いのが焼津のいいところ。駅から歩いて来られる距離に魅力的なスポットができるのは大賛成です！外の人も、中の人も楽しめるコンテンツで港の日常がゆるやかに賑わっていくことを楽しみにしてます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 焼津内港は焼津漁業の元拠点であり、昔と景色は大きく変わりましたが、思い入れのある市民も多いで今は車通りも多く、落ち着いた空間のため、安心してゆっくりと海を眺められる場所になったら嬉しいです。
施設連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポーターズを中心に多くの人々が笑顔になるイベントや活躍できる場になり、焼津の観光地の1つになることを期待します。また、釣りやギョサンを広めるイベント等？漁具センターも巻き込んでも面白いのかなぁと思いました！
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポーターズとの連動イベントがあったら良いですね！
コンテンツ・企画	<ul style="list-style-type: none"> ・ PRと市民に届くようにしてほしい。飲食は混んでる。駐車場少ない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海や空がきれいだったので、海や空をテーマにしたイベントもやってほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ これからもこどもも楽しめるイベントとか楽しみにしています
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も定期的にイベントを開催していけば、将来、規模も大きくなりイベント自体定着するので、継続するのは難しいかもしれませんが、今後も続けていただきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回のような焼津らしさをテーマにしたイベントの開催。かつお節、かつお出汁、くろはんぺんなど焼津の特産を使った食べ物で他地域の人を呼ぶイベントがあってもいいと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も子供と一緒に楽しめる企画をつくってほしい。安全性は大事。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生も参加できる内容を増やしてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生のつり場!花火・線香花火。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ もう少し店舗ほしい
交通・アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回、臨時駐車場が設定されて市外からも行きやすかった。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧港は休日でも漁業関係者の車の通りが多いので、道路を渡る時など徒歩や自転車の方は注意が必要かと思います。

パネルアンケート結果

【調査目的】 焼津駅-駅前通り商店街-内港をつなぐまちなかにおいて、歩きたくなる魅力や資源、歩きやすくするために改善すべき課題を調査

【調査内容】 歩いて楽しめるまちの魅力・資源⇒ ● 周遊しやすくするためにここがこうなったらいいのにな（改善点）⇒ ●

【回答数】 36サンプル



企画者アンケート結果まとめ

企画者からの主な意見は以下のとおり。 【回答数】 16名

■当日の運営・感想について

- ・ 関係者の協力により、大きなトラブルもなくスムーズに実施できた。港を背景にした雰囲気は地域ならではのものであり、内港のポテンシャルを確認できたことは大きな成果である。
- ・ 雨天延期に伴い、来場者数が想定より少なく、広報活動や集客方策が柔軟に対応できるとよかった。当日の運営はチームごとに動き、全体確認や役割共有ができるとよかった。

■目的設定(日常的なにぎわい創出・周遊促進)について

- ・ 目的設定は適切かつ実効性のあるテーマであり、地域の将来像を考える上で重要である。駅から港まで歩くというアイデアや、周遊を促す仕掛けが試みられた点は評価できる。
- ・ 日常的なにぎわいの創出の継続は引き続きの課題である。周遊促進についても、他イベントとの連携がよりできるとよかった。定期的な小規模イベントや日常利用できるコンテンツの導入、地域特性を踏まえた周遊促進の強化が求められる。

■実施プロセス・スケジュール(企画会議～企画選定～制作・準備段階)について

- ・ 関係者の主体性や理解度が高く、連携して進める過程で学びが多かった。短期間ながらスピード感を持って進行でき、熱量や一体感が生まれた。
- ・ 準備期間が約1か月と非常に短く、想定より負担が大きかった。市民参画を想定したイベントでは、当日のメンバーの都合や採択された企画数の多さに対するフォロー、企画決定のプロセスの見える化などが、課題である。

企画者アンケート結果まとめ

■チーム体制／事務局の動き、役割分担について

- 地域の参加者が主体的に企画に入り込み、一緒に作り上げる感覚を共有できた点は大きな成果である。チームが困った際には事務局から迅速なフォローやサポートがあった。
- 事務局とチームの関与範囲や役割分担がより明確にできるとよい。チームや個人に取組の裁量が委ねられており負担が大きかった。

■コミュニケーションの仕方(LINEオープンチャット・会議等)について

- 情報共有の即時性が高く、誰もが使いやすい点で非常に便利であった。個人間の直接的なやり取りが制限される仕組みもあり、参加者が入りやすい環境であった。会議は適切なタイミングで実施され、進捗確認や意思疎通が円滑に行えたことも評価できる。
- オープンチャットが複数グループに分かれていたため、情報の統一が難しく、未参加や未読のメンバーが発生した。重要な情報と雑談が混在したことで、決定事項の見逃しやタスク管理の不十分さも課題であり、ツールを使ったコミュニケーションのルール設定が必要である。

■想い・気持ち(楽しさ／モチベーション／負担感等)について

- 焼津を盛り上げたいという強い思いを持つ人々が集まり、同じ方向を向いて活動できた。非常にやりがいがあり、貴重な経験となった。日程延期により一時的にモチベーションが低下した場面もあったが、当日の活気ある雰囲気を見て「やってよかった」と感じる場面も多く、達成感を得られた。
- 有志参加を前提とした体制では負担が大きい。役割の不明確さや、価値観の違いによる調整の難しさも指摘された。関与度に応じた報酬の設定など、長期的に参加しやすい仕組みづくりが必要である。

企画者アンケート結果まとめ

■内港の活性化に繋げるために協力をお願いしたい企業及び分野について

- ・ 地元企業、小売店、飲食店、観光関連事業者、焼津漁業協同組合、焼津市魚仲水産加工業協同組合、焼津市役所、静岡県の連携が必要である。特に、若者や学生の参画、多様な分野の連携は、内港活性化の基盤づくりに繋がるといえる。

■ご自身の関わった企画や実施結果が、どのように発信や焼津市の取組に反映されていくと良いと思いますか

- ・ 実施結果や意見がより多くの市民に届くよう、市ホームページやSNS等を活用した情報発信を行う。このような取組みを広く周知することで、活動への関心や共感を高め、関わる人を増やし、継続的な取組と支援につながるようにする。

■今後、どのような条件であれば市民主体の社会実験に参加したいですか

- ・ ある程度の報酬や交通費などの経費補助があることが望ましい。市民と行政の責任の所在が明確であり、役割分担がはっきりしていること、将来性のある取組みであれば積極的に参加したい。

結果まとめ

①日常的なにぎわい創出のための空間形成・活用

- ・内港地区へはアクティビティを求めた来場者が多く、防潮堤整備後の活用方法としても「イベントできる場」としてのニーズが高く、次いで「休憩できる場」「散歩できる場」「景色を楽しめる場」などの日常的にゆっくり過ごせる空間へのニーズが高かった。場面に応じて、非日常的な利活用と日常的な過ごし方の双方の空間形成のニーズが確認できた。
- ・イベント内容において、特に、焼津らしい飲食やカツオのアート、海辺の景観といった地域資源を活かした企画への関心が高かった。
- ・半数以上が1時間以上滞在しており、対象地は滞留空間としてのポテンシャルが高い。
- ・自由意見として「誰でも楽しく参加できるイベントになった。」や「子ども達を楽しめる企画でよかった。」など子どもを含め幅広い世代が楽しめる点を評価する声が多く寄せられた。
- ・改善点としては「もっと告知をしてほしい」や「若年層が参加できる企画を増やしてほしい」などの意見が挙げられた。

②駅-商店街-内港地区の周遊促進

- ・来訪手段として、半数が自動車で来訪し、徒歩での来訪者は全体の3割となった。
- ・徒歩での来訪は、商店街～静岡焼津線・小石川沿い、焼津駅～市役所方面を通して来訪する人が多く、目的性のある施設やイベントに加え、「通りの気持ちよさ」や「なんとなくのわかりやすさ・迷いづらさ」「イベント同士のアクセス性」などが、徒歩による周遊促進の主要な要素となっている。
- ・周遊につながる魅力や資源として、内港地区では海や港町感、雰囲気良さが挙げられた。一方で、商店街と内港地区の間のエリアには、魅力や資源は少なく、周遊上の課題として、特に、小石川沿いや内港周辺における歩行者の安全性の低さや交通の不便を挙げられ、改善が必要となる。

結果まとめ

■内港地区で期待すること

- ・地域資源として、**景観（港、漁船、山々、空）**や**独特な雰囲気**などを活かした空間形成に期待。
- ・イベント時に限らず、**日常的に人が訪れたくなる場所**になって欲しい、地域内外の人が楽しめるコンテンツによって、港の日常が緩やかににぎわっていくとよい。
- ・まちづくりにかかわる人が共通の**明確なビジョン**を持った状態で取組みを進められるとよい。
- ・駐車場の少なさや徒歩での**交通安全性の確保**は喫緊の課題である。
- ・今後も、**子どもや学生と一緒に楽しめる**企画ができるとよい。
- ・対象地と**焼津PORTERSと連動した取組み**や、漁具センターを巻き込んだ取組みができるとよい。

■今後チャレンジしてみたいこと

- ・内港を拠点にした定期マーケット
- ・交流会・ワーケーション、コワーキングを絡めた滞在型企画
- ・市民参加型イベント（ものづくり・食・音楽等）
- ・学生・若手クリエイターのチャレンジ展示
- ・空き家を利用したアート（インスタレーション） など
- ・旧漁港蒲鉾屋根を模したドローンショー
- ・焼津ぶらぶらタンブラー&マップの事業化
- ・ヨットを日常化（海の駅を作る）
- ・防災を日常に

結果まとめ

■実施までのプロセス

- ・準備期間の短さを指摘する意見が多く挙げられた一方、短期集中で実施したからこそ団結して進められたという意見もあった。
- ・企画会議を踏まえた内容の精査や実施判断、体制構築に関する合意形成について、今後実施する際には、より丁寧なプロセスが必要であるとの意見があった。

⇒市民の発想を最大限にまちづくりや取組みに活かすため、企画～準備～実施までの適切な期間設定や段階的な合意形成のプロセスを確立する必要がある。

■取組体制

- ・市民の強みである自由な発想・アイデア、人脈等を、行政の調整力や進行によって、各企画の実現に至った。より、納得感のある取組推進のために、各主体の役割を明確に示す必要性が挙げられた。

⇒行政と市民の役割を事前にすり合わせ、公と民の役割分担を明確にした上で、地域活性化に向けた持続的な推進体制を検討する必要がある。

■その他アンケートや準備段階で得られた気づき

- ・連絡手段として活用したLINEオープンチャットは使いやすく、多様な参加者がいる場面でのコミュニケーションツールとして評価が高かった。
- ・単発のイベントに留まらず、日常的に内港を使えるようにする取組が必要であるという意見が挙げられた。今回の成果は、多くの市民に周知し、取組の議論につながっていくとよい。

⇒社会実験の実施に際して、より広く周知ができる仕組みづくりが必要となる。また、日常的なにぎわいについて継続的な取組みや自発的にできる環境を整備することが重要である。

結果まとめ

■ 今後の展望

- ・ 内港地区活性化基本方針を策定し、①新たな人の流れを呼び込む拠点づくり、②新たなインフラの整備及び利活用、③内港らしい魅力や活動の積み重ね、④まちなかや周辺エリア間の周遊促進の4つの観点で活性化に向けた取組を具体化し、実行していく。
- ・ 今後も、うみとまちをつなぐ“えんがわ”のような空間の形成やまちなかの周遊促進に向けた実験的な取組み、ハード・ソフト一体の取組みを公共と民間が連携しながら進めていく。

公の役割：目指す将来像の実現に向けて、地域の住民やプレイヤー、事業者が取組みを進めやすい環境を整える。具体的には、行政として以下の役割を持ち、取組みを進める。

民の役割：目指す将来像の実現に向けて、地域の住民やプレイヤーは小さな活動レベルのアクションを、民間事業者は積極的に拠点づくりへの事業的な関与を図り、取組みを進める。

公の役割

- ・ 地域における共通の指針となるビジョン・プランの作成
- ・ 必要なハード整備
- ・ 取組みの実証機会を設ける
- ・ 利活用可能な資産の利活用促進
- ・ 補助金・助成金による取組支援

等

民の役割

- ・ ビジョンやプランの策定過程への参加
- ・ 拠点づくりへの積極的な事業参画
- ・ 防潮堤（遊歩道）の利活用、イベント実施
- ・ 民主導の空き家・空き店舗等の活用
- ・ 内港らしい地域イベントの実施や活動の積み重ね
- ・ 主体的な地域の周遊を楽しめる活用や魅力発信

等